



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社スペースシャワーネットワーク 上場取引所 東  
 コード番号 4838 URL <https://www.spaceshower.net/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 吉人  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北島 直樹 TEL 03-3585-3242  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	15,381	10.9	153	—	563	2.2	348	△39.3
2022年3月期	13,864	17.9	△0	—	551	—	573	—

(注) 包括利益 2023年3月期 393百万円 (△30.6%) 2022年3月期 566百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	41.71	—	9.9	7.5	1.0
2022年3月期	51.77	—	15.4	7.6	△0.0

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 1百万円 2022年3月期 24百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	7,804	3,691	47.3	441.52
2022年3月期	7,264	3,361	46.2	403.83

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,691百万円 2022年3月期 3,356百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	891	△124	△97	2,667
2022年3月期	845	△308	△1,364	1,997

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	83	19.3	2.6
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	83	24.0	2.4
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		22.3	

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,736	15.1	458	627.9	458	86.3	292	36.0	35.02
通期	16,650	8.2	554	261.3	600	6.5	374	7.5	44.79

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2023年3月期	8,811,354株	2022年3月期	11,330,800株
2023年3月期	449,881株	2022年3月期	3,019,446株
2023年3月期	8,348,944株	2022年3月期	11,079,138株

（参考）個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	10,473	8.1	△255	—	408	136.6	414	54.9
2022年3月期	9,691	11.0	△192	—	172	—	267	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	49.68	—
2022年3月期	24.17	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	5,875	2,750	46.8	328.96
2022年3月期	5,406	2,348	43.4	282.59

（参考）自己資本 2023年3月期 2,750百万円 2022年3月期 2,348百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「1. 経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(表示方法の変更) .....	15
(追加情報) .....	15
(セグメント情報) .....	16
(収益認識関係) .....	18
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ① 当期の経営成績

				(千円)	(円)
	売上高	営業利益又は 営業損失（△）	経常利益	親会社株主に帰 属する当期純利 益	1株当たり当期 純利益
2023年3月期	15,381,132	153,447	563,763	348,260	41.71
2022年3月期	13,864,433	△135	551,517	573,604	51.77
伸長率	10.9%	－%	2.2%	△39.3%	△19.4%

## 当連結会計年度の業績全般の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限や海外からの入国制限が緩和されたことなどにより、緩やかに持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化や急激な為替の変動、世界的なインフレの進行とそれを抑制するための金融引き締めによる世界経済の減速懸念などにより、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関連する、音楽・エンタテインメント業界においては、各種サービスのデジタルシフトが急速に進み、定額サブスクリプションの音楽配信やライブ・イベント動画配信の普及・定着により、コンテンツのデジタル配信市場が堅調な成長を続けるとともに、デジタルプラットフォームの普及により、グローバルに向けたコンテンツ提供が容易となりました。一方で、ライブ・イベント市場については、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により回復が遅れていましたが、足下では、集客制限の緩和に伴い、十分な感染対策を行った上で、ライブ・イベント再開の動きが徐々に活発化しており、公演回数、動員数ともに回復の兆しを見せております。

このように社会・経済環境が急速に変化する中、当社グループでは、アーティスト・クリエイターに向けたデジタルを中心とするソリューションの提供や、ユーザー・ファンに向けたライブ・イベント等コンテンツを通じた感動の提供による事業成長を目指すべく、2022年5月13日に、当社グループの中期経営計画「Daylight 2024」

（2022～2024年度）を公表いたしました。本中期経営計画において、当社グループの事業セグメントを「メディアセグメント」、「ライブ・コンテンツセグメント」、「ソリューションセグメント」の3セグメントに再編するとともに、市場が縮小傾向にある既存の有料放送事業を中心とした「メディアセグメント」の収益を守りつつ、「ライブ・コンテンツセグメント」と「ソリューションセグメント」を成長の重点領域として事業収益の拡大を目指す方針を示すとともに、今後3年間の当社グループの方向性や収益目標を掲げました。2023年3月期からの3カ年、本中期経営計画のもと、事業の成長と企業価値向上の実現に向け、事業計画を推進してまいります。

当連結会計年度におきましては、2022年5月21日、22日に、ヒップホップをテーマにした国内最大規模の新たなフェスティバル「POP YOURS」を幕張メッセ国際展示場にて開催いたしました。新しいジャンルでのフェスティバルを開拓することで、今後のライブ・コンテンツ領域の事業拡大につながる、新たな一歩を踏み出すことができました。

また、2022年8月26日、27日、28日の3日間、当社主催の夏の野外音楽フェス「SWEET LOVE SHOWER 2022」を、山梨県「山中湖交流プラザきらら」にて3年ぶりに開催することができました。自治体のガイドラインに則った収容人数において、3日間で合計6万人を動員するとともに盛況を博し、コロナ禍からの復活を果たすことが出来ました。

さらに、2023年3月11日には、当社グループのインフィニア㈱の運営するエンターテインメントカフェ「あっとほおむカフェ」が、2025年の大阪万博開催を控え、国内はもとより海外からのさらなる需要が見込まれる大阪地区において、国内10店舗目、大阪では3店舗目となる新店舗「あっとほおむカフェ大阪本店3F」をオープンいたしました。

これらの取り組みなどにより、コロナ禍で大きなダメージを受けたライブ・コンテンツビジネスにおいて、収穫の多い1年となりました。

当連結会計年度の業績につきましては、売上高は15,381,132千円と前期比1,516,699千円増（同10.9%増）、営業損益は営業利益153,447千円と前期比153,583千円増（前年同期は営業損失135千円）、経常損益は経常利益563,763千円と前期比12,246千円増（同2.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は348,260千円と前期比225,343千円減（同39.3%減）と、増収減益となりました。

## (セグメント区分の変更)

当社は、『中期経営計画「Daylight 2024」(2022～2024年度)』にて開示した内容通り、当連結会計年度より報告セグメントの変更を行っております。また、各セグメントの主な事業内容は下記の通りとなります。

報告セグメント	主な事業内容
メディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料放送事業：「スペースシャワーTV」及び「スペースシャワーTVプラス」の運営</li> <li>・オンデマンド事業：「スペースシャワーオンデマンド」の運営</li> <li>・映像制作事業：音楽ライブの映像収録やプロモーションビデオの映像制作等</li> </ul>
ライブ・コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント事業：「SWEET LOVE SHOWER」「POPYOURS」等の主催イベントの企画運営</li> <li>・ライブハウス事業：ライブハウス「WWW」「WWWX」の運営</li> <li>・マネジメント事業：当社所属アーティストのマネジメント</li> <li>・エージェンツ事業：アーティストのプロデュース・サポートなど</li> <li>・アライアンス事業：協賛広告の獲得や他社とのコンテンツの共同制作など</li> <li>・エンターテインメントカフェ事業：「あつとほおむカフェ」の運営</li> </ul>
ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディストリビューション事業：音楽配信やパッケージを通じた楽曲等の流通</li> <li>・ファンクラブ事業：アーティスト等のファンクラブ/ファンサイトの運営</li> <li>・EC/MD事業：グッズの企画制作やECサイト「スペシャストア」の運営</li> </ul>

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの区分を変更するとともに、報告セグメントへの管理コストの配賦方法を変更しております。詳細は、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。前連結会計年度比較については、前連結会計年度の数値を変更後の報告セグメントの区分方法及び新しい配賦方法に基づき組み替えた数値で比較しております。

## ①メディア セグメント

有料放送事業において、番組販売売上が減少したことなどにより、前年同期比で減収減益となりました。映像制作事業においては、ライブの映像収録案件等の受注が増加したものの助成金収入が減少したことにより、前年同期比で増収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は4,946,816千円と前期比485,963千円減(同8.9%減)となり、セグメント損益(経常損益)につきましてもセグメント利益(経常利益)272,826千円と前期比146,932千円減(同35.0%減)となりました。

## ②ライブ・コンテンツ セグメント

ライブハウス事業やエンターテインメントカフェ事業など店舗ビジネスにおいては、コロナ禍からの回復傾向が続いたことにより、前年同期比で増収増益となりました。また、イベント事業においては、当第1四半期連結会計期間に開催した、投資フェーズにある新たな大型イベント「SWEET LOVE SHOWER SPRING 2022」や「POP YOURS」の立ち上げに伴い、コスト負担が増加したものの、2022年8月に当社主催の夏の野外音楽フェス「SWEET LOVE SHOWER 2022」を3年ぶりに開催したことや、助成金収入の増加により、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5,914,038千円と前期比1,677,279千円増(同39.6%増)となり、セグメント損益(経常損益)につきましても、セグメント利益(経常利益)374,182千円と前期比313,527千円増(同516.9%増)となりました。

## ③ソリューション セグメント

ディストリビューション事業において、音楽配信売上が増加したものの、音楽配信の運営体制強化に向け、人員の再配置に伴う人件費等の固定費や配信システムの運用コストが増加したことなどにより、前年同期比で増収減益となりました。また、ファンクラブ事業において、受託案件が減少したことなどにより、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は4,520,277千円と前期比325,383千円増(同7.8%増)となり、セグメント損益(経常損益)につきましてもセグメント損失(経常損失)91,051千円と前期比137,663千円減(前期はセグメント利益(経常利益)46,611千円)となりました。

## ② 次期の見通し

(単位：千円) (円)

	売上高	営業利益又は 営業損失（△）	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
2024年3月期	16,650,053	554,427	600,267	374,517	44.79
2023年3月期	15,381,132	153,447	563,763	348,260	41.71
伸長率	8.2%	261.3%	6.5%	7.5%	7.4%

2024年3月期は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類へ移行することなどに伴い、行動制限の緩和がさらに進み、社会経済活動は平常化へ向かうと想定されることから、ライブ・イベントや、ライブハウス及びエンターテインメントカフェなどの店舗営業が通常時へ回帰し、収益が回復することを見込んでおります。また、有料放送収入の減少が見込まれるものの、デジタル音楽配信収入の増加が引き続き見込まれることなどにより、売上高及び営業利益は、大幅に増加する見込みです。一方で、雇用調整助成金やJ-LODなどの助成金収入の減少が見込まれることにより、経常利益につきましては、微増となる見込みです。以上により、通期連結業績予想として、売上高は16,650,053千円（当期比8.2%増）、営業利益は554,427千円（当期比261.3%増）、経常利益は600,267千円（当期比6.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は374,517千円（当期比7.5%増）を見込んでおります。

(注) 前述の業績見通しに記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略等は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。従いまして、これら業績見通しのみで全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをお含みおきください。

実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、①社会・経済情勢などの事業環境の変化や、②放送法、通信法等の法制度における変化、③デジタル技術分野での顕著な急速な技術革新の他に、④ヒットコンテンツの創出があります。当社は有料放送やライブイベント、音楽配信、アーティストマネジメントなど様々な事業を運営しておりますが、消費者の嗜好にあったサービスやコンテンツを提供できるかどうかは業績に大きな影響を与える要素となります。ただし、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

#### (中期経営計画等の進捗状況)

当社は、2022年5月13日、2022年度から2024年度の3ヵ年経営計画、SSNWグループ中期経営計画「Daylight/2024」を開示いたしました。中期経営計画1年目の2023年3月期につきましては、ディストリビューション事業における音楽配信売上が、当初の見込みを下回ったことなどにより、計画を下回ったものの、2024年3月期以降、社会経済活動がコロナ禍から平常化に向かい、ライブ・イベントや店舗ビジネスの本格的な回復が見込まれることから、概ね想定範囲内で進捗していると考えております。

#### (目標とする経営指標の達成状況)

当社グループは、安定した連結経常利益水準の維持向上を経営指標として考えております。

2023年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が縮小し、イベント事業やライブハウス事業・エンターテインメントカフェ事業など店舗ビジネスの回復傾向が続いたことなどにより、経常利益は前連結会計年度を上回る結果となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、主に現金及び預金が669,739千円、仕掛品が68,057千円、ソフトウェア仮勘定が140,348千円増加した一方で、ソフトウェアが71,369千円、繰延税金資産が145,284千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ539,722千円増加し、7,804,630千円となりました。

負債は、主に未払金が473,087千円、賞与引当金が106,574千円、その他（固定負債）が53,402千円増加した一方で、買掛金が96,606千円、その他（流動負債）が222,109千円、役員退職慰労引当金が99,618千円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ209,035千円増加し、4,112,858千円となりました。

純資産は、自己株式の消却により自己株式が1,038,011千円減少した一方で資本剰余金が同額減少しました。また、譲渡制限付株式報酬付与のため自己株式を処分したことにより主に自己株式が20,347千円減少し、利益剰余金が265,147千円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ330,686千円増加し、3,691,772千円となりました。

### ② 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、669,739千円の獲得となり、資金の期末残高は2,667,134千円となりました。これは、営業活動により891,609千円獲得した一方で、投資活動により124,143千円、財務活動により97,725千円使用したことによるものであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の獲得は、891,609千円（前連結会計年度は845,814千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益により573,746千円、減価償却費により180,416千円、無形固定資産償却費により106,991千円、減損損失により90,705千円、その他の流動負債の増加により228,861千円、その他の固定負債の増加により53,402千円、賞与引当金の増加により106,574千円獲得した一方で、棚卸資産の増加により86,914千円、仕入債務の減少により96,606千円、役員退職慰労引当金の減少により99,618千円、法人税等の支払により163,510千円使用したことによるものであります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の使用は、124,143千円（前連結会計年度は308,979千円の使用）となりました。これは主に、投資有価証券の売却により210,000千円獲得した一方で、有形固定資産の取得により112,584千円、無形固定資産の取得により220,960千円使用したことなどによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の使用は、97,725千円（前連結会計年度は1,364,728千円の使用）となりました。これは主に、配当金の支払により83,113千円使用したことによるものであります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、IFRSの適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,997,394	2,667,134
受取手形及び売掛金	2,302,968	2,257,598
商品	39,249	56,344
仕掛品	136,640	204,698
貯蔵品	7,725	9,486
その他	174,270	200,459
貸倒引当金	△64,725	△48,929
流動資産合計	4,593,523	5,346,792
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,162,065	1,215,115
機械装置及び運搬具	17,487	17,487
工具、器具及び備品	741,315	782,312
土地	52,640	52,640
リース資産	85,070	85,070
建設仮勘定	2,662	4,400
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,105,717	△1,270,222
有形固定資産合計	955,523	886,805
無形固定資産		
商標権	110,987	98,184
ソフトウェア	229,343	157,973
ソフトウェア仮勘定	27,033	167,381
その他	22,281	19,247
無形固定資産合計	389,645	442,786
投資その他の資産		
投資有価証券	262,572	227,746
敷金及び保証金	270,181	266,933
繰延税金資産	735,317	590,032
その他	57,422	44,049
貸倒引当金	△2,265	△2,265
投資その他の資産合計	1,323,228	1,126,496
固定資産合計	2,668,397	2,456,087
繰延資産	2,986	1,750
資産合計	7,264,907	7,804,630

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,917,354	1,820,748
リース債務	14,612	6,811
未払金	288,926	762,014
未払法人税等	60,293	31,797
預り金	212,834	222,606
賞与引当金	188,569	295,143
役員賞与引当金	22,431	22,946
その他	373,745	151,635
流動負債合計	3,078,767	3,313,703
固定負債		
リース債務	8,636	1,825
退職給付に係る負債	692,556	719,684
役員退職慰労引当金	119,201	19,583
その他	4,659	58,062
固定負債合計	825,055	799,154
負債合計	3,903,822	4,112,858
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,797,978	1,760,117
利益剰余金	1,691,335	1,956,482
自己株式	△1,241,000	△182,641
株主資本合計	3,348,313	3,633,959
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,051	57,813
その他の包括利益累計額合計	8,051	57,813
非支配株主持分	4,720	—
純資産合計	3,361,085	3,691,772
負債純資産合計	7,264,907	7,804,630

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	13,864,433	15,381,132
売上原価	11,693,049	12,913,915
売上総利益	2,171,384	2,467,216
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	73,992	94,015
役員報酬	130,755	137,277
人件費	876,002	921,767
退職給付費用	38,787	43,001
役員退職慰労引当金繰入額	25,320	6,523
賞与引当金繰入額	74,986	120,008
役員賞与引当金繰入額	8,556	22,946
株式報酬費用	—	15,374
地代家賃	118,503	113,854
賃借料	29,169	16,841
旅費及び交通費	17,072	38,163
減価償却費	83,804	65,733
貸倒引当金繰入額	18,283	△15,092
消耗品費	5,499	8,059
水道光熱費	15,913	17,575
通信費	26,751	23,538
業務委託・協力費	250,446	260,839
その他	377,674	423,340
販売費及び一般管理費合計	2,171,519	2,313,769
営業利益又は営業損失(△)	△135	153,447
営業外収益		
受取利息	157	56
受取配当金	7,814	572
持分法による投資利益	24,463	1,484
為替差益	57	9,645
受取賃貸料	1,812	1,740
業務受託手数料	5,278	—
諸預り金戻入益	—	1,615
助成金収入	489,402	464,161
関係会社清算益	18,581	—
雑収入	4,506	17,111
営業外収益合計	552,076	496,386
営業外費用		
支払利息	417	248
助成金返還損	—	85,783
雑損失	7	38
営業外費用合計	424	86,070
経常利益	551,517	563,763

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	505	86
投資有価証券売却益	3,316	97,602
その他	—	8,403
特別利益合計	3,822	106,092
特別損失		
固定資産売却損	57	—
減損損失	34,849	90,705
固定資産除却損	3,229	2,875
投資有価証券売却損	19,344	—
その他	6,272	2,529
特別損失合計	63,752	96,110
税金等調整前当期純利益	491,586	573,746
法人税、住民税及び事業税	62,848	111,247
法人税等調整額	△129,986	118,958
法人税等合計	△67,137	230,205
当期純利益	558,724	343,540
非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	△14,879	△4,720
親会社株主に帰属する当期純利益	573,604	348,260

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	558,724	343,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,621	49,761
その他の包括利益合計	7,621	49,761
包括利益	566,346	393,301
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	581,225	398,022
非支配株主に係る包括利益	△14,879	△4,720

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,920,579	977,399	1,174,684	△26	4,072,635
会計方針の変更による累積的影響額			56,353		56,353
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,920,579	977,399	1,231,038	△26	4,128,989
当期変動額					
剰余金の配当			△113,307		△113,307
親会社株主に帰属する当期純利益			573,604		573,604
資本金から剰余金への振替	△1,820,579	1,820,579			—
自己株式の取得				△1,240,973	△1,240,973
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	△1,820,579	1,820,579	460,296	△1,240,973	△780,676
当期末残高	100,000	2,797,978	1,691,335	△1,241,000	3,348,313

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額		非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証 券評価差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	430	430	19,600	4,092,666
会計方針の変更による累積的影響額				56,353
会計方針の変更を反映した当期首残高	430	430	19,600	4,149,020
当期変動額				
剰余金の配当				△113,307
親会社株主に帰属する当期純利益				573,604
資本金から剰余金への振替				—
自己株式の取得				△1,240,973
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	7,621	7,621	△14,879	△7,258
当期変動額合計	7,621	7,621	△14,879	△787,934
当期末残高	8,051	8,051	4,720	3,361,085

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	2,797,978	1,691,335	△1,241,000	3,348,313
当期変動額					
剰余金の配当			△83,113		△83,113
親会社株主に帰属する当期純利益			348,260		348,260
自己株式の処分		151		20,347	20,498
自己株式の消却		△1,038,011		1,038,011	—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	△1,037,860	265,147	1,058,358	285,646
当期末残高	100,000	1,760,117	1,956,482	△182,641	3,633,959

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額		非支配 株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	8,051	8,051	4,720	3,361,085
当期変動額				
剰余金の配当				△83,113
親会社株主に帰属する当期純利益				348,260
自己株式の処分				20,498
自己株式の消却				—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	49,761	49,761	△4,720	45,040
当期変動額合計	49,761	49,761	△4,720	330,686
当期末残高	57,813	57,813	—	3,691,772

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	491,586	573,746
減価償却費	179,712	180,416
無形固定資産償却費	103,083	106,991
株式報酬費用	—	15,374
減損損失	34,849	90,705
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,922	△15,796
受取利息及び受取配当金	△7,972	△629
敷金及び保証金償却	6,655	6,458
助成金収入	△489,402	△464,161
持分法による投資損益 (△は益)	△24,463	△1,484
支払利息	417	248
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,994	2,451
無形固定資産除売却損益 (△は益)	786	338
投資有価証券売却損益 (△は益)	16,027	△97,602
関係会社清算損益 (△は益)	△18,581	—
出資金償却	9,935	9,199
差入保証金の増減額 (△は増加)	△68	△10
長期前払費用償却額	706	1,751
売上債権の増減額 (△は増加)	△648,689	45,369
棚卸資産の増減額 (△は増加)	67,953	△86,914
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△41,912	△4,676
仕入債務の増減額 (△は減少)	416,191	△96,606
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	46,806	228,861
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△100	53,402
賞与引当金の増減額 (△は減少)	101,985	106,574
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	20,661	514
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	49,498	27,127
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	29,372	△99,618
その他	1,643	726
小計	364,598	582,757
利息及び配当金の受取額	7,972	629
利息の支払額	△417	△248
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	14,659	7,820
法人税等の支払額	△30,402	△163,510
助成金の受取額	489,402	464,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	845,814	891,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△231,043	△112,584
有形固定資産の売却による収入	466	1,420
無形固定資産の取得による支出	△148,572	△220,960
投資有価証券の売却による収入	88,068	210,000
関係会社の清算による収入	18,581	—
出資金の払込による支出	△9,525	△4,477
出資金の回収による収入	412	4,606
貸付けによる支出	—	△1,950
貸付金の回収による収入	—	3,000
敷金及び保証金の差入による支出	△42,033	△3,218
敷金及び保証金の回収による収入	17,874	19
その他	△3,207	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△308,979	△124,143
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△113,307	△83,113
リース債務の返済による支出	△10,447	△14,612
自己株式の取得による支出	△1,240,973	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,364,728	△97,725
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△827,893	669,739
現金及び現金同等物の期首残高	2,825,288	1,997,394
現金及び現金同等物の期末残高	1,997,394	2,667,134

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（表示方法の変更）

エンターテイメントカフェ事業の店舗運営にかかる人件費・経費の一部につきまして、これまで「販売費及び一般管理費」としておりましたが、今後の事業収益拡大への取り組みに伴い損益管理区分を見直し、事業の実態をより適切に反映することを目的として、当連結会計年度より「売上原価」として表示区分を変更することといたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。なお、組替え前と比較して、前連結会計年度の売上原価は716,718千円増加し、売上総利益、販売費及び一般管理費はそれぞれ同額減少いたしました。営業利益に与える影響はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用）

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。）に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

## （セグメント情報）

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、総合的な音楽エンタテインメント企業として、多様なコンテンツを利用した事業活動を行っており、音楽専門チャンネルの運営、音楽イベントの主催、音楽ソフトの流通などの音楽のコンテンツを軸とした分野とミュージックビデオやライブ映像の受託制作などを軸とした分野を事業領域として事業の展開をしております。

したがって、当社グループは、「メディア」、「ライブ・コンテンツ」、「ソリューション」の3つを報告セグメントとしております。

各セグメントの主な事業内容は下記のとおりとなります。

報告セグメント	主な事業内容
メディア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有料放送事業：「スペースシャワーTV」及び「スペースシャワーTVプラス」の運営</li> <li>・オンデマンド事業：「スペースシャワーオンデマンド」の運営</li> <li>・映像制作事業：音楽ライブの映像収録やプロモーションビデオの映像制作等</li> </ul>
ライブ・コンテンツ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント事業：「SWEET LOVE SHOWER」「POPYOURS」等の主催イベントの企画運営</li> <li>・ライブハウス事業：ライブハウス「WWW」「WWWX」の運営</li> <li>・マネジメント事業：当社所属アーティストのマネジメント</li> <li>・エージェント事業：アーティストのプロデュース・サポートなど</li> <li>・アライアンス事業：協賛広告の獲得や他社とのコンテンツの共同制作など</li> <li>・エンターテイメントカフェ事業：「あっとほおむカフェ」の運営</li> </ul>
ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディストリビューション事業：音楽配信やパッケージを通じた楽曲等の流通</li> <li>・ファンクラブ事業：アーティスト等のファンクラブ/ファンサイトの運営</li> <li>・EC/MD事業：グッズの企画制作やECサイト「スペシャストア」の運営</li> </ul>

なお、当連結会計年度より、経営・ガバナンスの高度化等を目的とした事業ポートフォリオの再構築を行い、報告セグメントを従来の「メディア・コンテンツ」、「映像制作」から「メディア」、「ライブ・コンテンツ」及び「ソリューション」に変更しております。前連結会計年度のセグメント情報は変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則及び手続に準拠した方法と概ね同一であります。同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントの業績をより適切に反映させるために、全社費用の配賦基準を見直し、事業セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の新しい算定方法に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益、資産その他の項目の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	メディア	ライブ・ コンテンツ	ソリュー ション	計		
売上高						
メディア売上	3,732,366	—	—	3,732,366	—	3,732,366
ライブ・コンテンツ売上	—	4,236,759	—	4,236,759	—	4,236,759
ソリューション売上	—	—	4,194,893	4,194,893	—	4,194,893
映像制作売上	1,700,414	—	—	1,700,414	—	1,700,414
顧客との契約から生じる収益	5,432,780	4,236,759	4,194,893	13,864,433	—	13,864,433
外部顧客への売上高	5,432,780	4,236,759	4,194,893	13,864,433	—	13,864,433
セグメント間の内部売上高又は振替高	37,469	576,415	42,583	656,469	△656,469	—
計	5,470,250	4,813,174	4,237,477	14,520,903	△656,469	13,864,433
セグメント利益	419,758	60,654	46,611	527,025	24,491	551,517
セグメント資産	1,694,948	2,370,186	2,379,721	6,444,857	820,050	7,264,907
その他の項目						
減価償却費	55,705	136,815	29,030	221,552	61,243	282,795
受取利息	116	2	1	120	37	157
支払利息	—	2,600	142	2,743	△2,325	417
持分法投資利益	—	—	—	—	24,463	24,463
持分法適用会社への投資額	—	—	—	—	110,913	110,913
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	20,606	218,415	66,498	305,520	36,525	342,045

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等24,491千円であります。

(2) セグメント資産の調整額は、投資と資本の相殺消去、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産820,050千円であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	メディア	ライブ・ コンテンツ	ソリュー ション	計		
売上高						
メディア売上	3,181,564	—	—	3,181,564	—	3,181,564
ライブ・コンテンツ売上	—	5,914,038	—	5,914,038	—	5,914,038
ソリューション売上	—	—	4,520,277	4,520,277	—	4,520,277
映像制作売上	1,765,252	—	—	1,765,252	—	1,765,252
顧客との契約から生じる収益	4,946,816	5,914,038	4,520,277	15,381,132	—	15,381,132
外部顧客への売上高	4,946,816	5,914,038	4,520,277	15,381,132	—	15,381,132
セグメント間の内部売上高又は振替高	47,023	583,568	9,791	640,383	△640,383	—
計	4,993,840	6,497,606	4,530,069	16,021,516	△640,383	15,381,132
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	272,826	374,182	△91,051	555,957	7,806	563,763
セグメント資産	1,566,259	2,432,102	2,640,471	6,638,833	1,165,796	7,804,630
その他の項目						
減価償却費	47,336	150,208	36,650	234,196	53,211	287,408
受取利息	2	2	5	10	46	56
支払利息	—	2,600	458	3,058	△2,809	248
持分法投資利益	—	—	—	—	1,484	1,484
持分法適用会社への投資額	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	17,258	184,101	40,959	242,319	124,350	366,669

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去等7,806千円であります。

(2) セグメント資産の調整額は、投資と資本の相殺消去、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産1,165,796千円であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失 (△) は、連結財務諸表の経常利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(5) 連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報)」に記載のとおりであります。

## （1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	403.83円	441.52円
1株当たり当期純利益	51.77円	41.71円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2022年3月31日)	当連結会計年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額（千円）	3,361,085	3,691,772
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	4,720	—
（うち非支配株主持分（千円））	(4,720)	(—)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	3,356,365	3,691,772
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（株）	8,311,354	8,361,473

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	573,604	348,260
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	573,604	348,260
期中平均株式数（株）	11,079,138	8,348,944
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

## （重要な後発事象）

該当事項はありません。